



学校老朽化対策スピードを持って改修を

真野 和久議員

できる限り速やかに行いたい
学校教育課長



▲老朽化し改修が必要な校舎(立田北部小)

問 小・中学校施設老朽化対策検討委員会の検討状況は。また、今後のスケジュールは。

答 コロナの影響で、令和2年度は2回開催した。年度内にもう一回開催したい。3年度も5月から会を再開し、年度内に教育委員会への提言を出してもらおうようスケジュールを考えていく。

問 検討委員会の答申が出されれば、改修工事が

いつから始めるのか。
答 改修工事の予定については、現在は未定だ。

問 危険な部分を直すのは、スピードが必要。市内全体の老朽化対策工事をいつ頃までに終わるか。
答 施設の改修等はできる限り速やかに行いたいが、現時点では具体的な期間は未定だ。

問 トイレ改修は、ようやく巡らだ。学校校舎が10

年、20年というような計画になってしまっているのか。
答 市は、最大限、教育部

局と協力しながら活用できる財源をもって整備に当たっていかねければならない。

問 小・中学校規模適正化との関係で、対象の学校の老朽化対策を遅らせる、あるいは統合に伴って行うことはあるか。

答 学校施設の老朽化により、児童・生徒が危険にさらされることがあってはならない。小・中学校の規模適正化を優先することで、学校施設の老朽化対策を行わないということは考えていない。

公共施設で
インターネット
利用を

問 市役所など公共施設で、WiFi利用を可能にしてはどうか。また、文化会館や佐織公民館、コミュニティセンターなどの利用で、インターネットを活用した会議ができるようにしてはどうか。
答 WiFiの必要性は認識しており、情報化推進専門部会を立ち上げ、設置に向け調査・検討を行っている。

また、インターネット利用もその中で検討する。

その他の質問

●市内に成年後見センター設置を